

青森市内の指定医療機関における不妊治療の実施状況について

1 基本情報

※令和3年3月1日時点の状況を記載(「年間実施件数」については、記載可能な直近1年間を記載)

(1) 配置人員について

	エフ.クリニック	レディスクリニックセントセシリア
産婦人科専門医	2名	1名
うち、生殖医療専門医	1名	0名
泌尿器科専門医	0名	0名
うち、生殖医療専門医	0名	0名
看護師	17名	2名
胚培養士/エンブリオロジスト	3名	1名
コーディネーター	0名	0名
カウンセラー	0名	0名

(2) 治療内容について

■エフ.クリニック

治療の種類	年間実施件数 (2020年)	費用
人工授精	403件	16,500円
体外受精+新鮮胚移植	417件	300,000～450,000円
凍結融解胚移植	271件	160,000～180,000円
顕微授精	233件	55,000円
精巣内精子回収術	0件(他院に依頼 7件)	—

■レディスクリニック セントセシリア

治療の種類	年間実施件数 (2019年)	費用
人工授精	380件	20,000円
体外受精+新鮮胚移植	76件	250,000～330,000円
凍結融解胚移植	115件	130,000円
顕微授精	156件	50,000円
精巣内精子回収術	—	—

(3) 実施事項について

		エフ.クリニック	レディスクリニック セントセシリア	
実施 事項	自医療機関の不妊治療の結果による妊娠に関して、公益社団法人日本産科婦人科学会における個別調査票(治療から妊娠まで及び妊娠から出産後まで)への登録を行っている。	はい	はい	
	医療安全管理体制が確保されている			
	① 医療に係る安全管理のための指針を整備し、医療機関内に掲げている。	はい	はい	
	② 医療に係る安全管理のための委員会を設置し、安全管理の現状を把握している。	はい	はい	
	③ 医療に係る安全管理のための職員研修を定期的実施している。	はい	はい	
	④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策を講じている。	はい	はい	
⑤ 自医療機関において保存されている配偶子、受精卵の保存管理及び記録を安全管理の観点から適切に行っている。	はい	はい		

⑥	体外での配偶子・受精卵の操作に当たっては、安全確保の観点から必ずダブルチェックを行う体制を構築しており、ダブルチェックは、実施責任者の監督下に、医師・看護師・胚培養士／エンブリオロジストのいずれかの職種の職員2名以上で行っている。	はい	はい
⑦	倫理委員会を設置している。 ※委員構成等については、公益社団法人日本産科婦人科学会の会告「生殖補助医療実施医療機関の登録と報告に関する見解」に準ずる	いいえ	いいえ
⑧	公益財団法人日本医療機能評価機構の実施する医療事故情報収集等事業に登録・参加している。	はい	いいえ
⑨	不妊治療にかかる記録については、保存期間を20年以上としている。	はい	はい
⑩	里親・特別養子縁組制度の普及啓発等や関係者との連携を実施している。	いいえ	はい

2 直近1年間※の治療情報

※エフクリニック…2020年1月から2020年12月までの治療情報

※レディスクリニックセントセシリア…2019年1月から2019年12月までの治療情報

(1) 治療実績について

治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績

■新鮮胚(卵)を用いた治療成績

医療機関名	エフクリニック				レディスクリニックセントセシリア			
	IVF-ET	Split	ICSI	合計	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数(回)	64	—	36	100	20	—	15	35
移植総回数(回)	24	—	13	37	17	—	9	26
妊娠数(回)	10	—	6	16	4	—	1	5
生産分娩数(回)	9	—	4	13	4	—	1	5
移植あたり生産率(%)	37.5	—	30.8	35.1	24	—	11	—

IVF-ET : 採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split : 採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI : 採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

■凍結胚を用いた治療成績

医療機関名	エフクリニック	レディスクリニックセントセシリア
	融解胚子宮内移植	融解胚子宮内移植
移植総回数(回)	69	38
妊娠数(回)	29	10
生産分娩数(回)	19	7
移植あたり生産率(%)	27.5	18

(2) 来院患者情報について

体外受精、顕微授精、胚移植を行った患者数(実数)

医療機関名	エフクリニック	レディスクリニックセントセシリア
25歳未満	0名	1名
25歳以上30歳未満	13名	7名
30歳以上35歳未満	53名	26名
35歳以上40歳未満	58名	60名
40歳以上43歳未満	45名	37名
43歳以上	51名	16名

(3)治療指針について

■エフ.クリニック

- ・スクリーニング検査、女性の年齢、不妊期間から治療方針を決める。
- ・排卵障害のみ:排卵誘発+タイミング指導から始める。
- ・子宮内膜症/卵管性不妊:38歳未満は腹腔鏡(卵管鏡)下手術またはART、38歳以上はARTを勧める。
- ・頸管性不妊:人工授精から始める。
- ・子宮筋腫:年齢に関係なく、粘膜下筋腫(粘膜直下筋層内も含む)には子宮鏡下手術を行い、5cm以上の筋腫には腹腔鏡下手術を勧める。
- ・男性不妊:サプリメント治療を行いながら人工授精またはARTを勧める。
- ・若年女性かつ短期原因不明不妊:排卵誘発+タイミング指導から始める。
- ・高齢女性または2年以上の長期原因不明不妊:排卵誘発+人工授精またはARTから始める。
- ・治療のステップアップ:通常は6周期、高齢女性では3周期を目安とする。
- ・治療のステップダウン:希望に応じる。
- ・調節卵巣刺激:ホルモン値をみて方法を定める。第一選択は高刺激(通常はロング法、PCOSはアンタゴニスト法)とし、高刺激で反応が不良の場合は自然周期法を選択する。低刺激は希望に応じる。
- ・治療後に流産した場合は流産絨毛組織染色体検査を強く勧める。
- ・反復着床不全や反復流産では、血栓性素因、免疫機能、末梢血染色体などの2次検査を勧める。